

令和5年度の主な事業

信楽保育園・信楽幼稚園施設整備事業

5億7,459万円(内繰越4億7,831万円)

幼稚園・保育園施設長寿命化計画に基づき、安心・安全な保育・教育環境を提供するため、老朽化した信楽保育園・信楽幼稚園の建て替え整備を進めました。



甲南統合認定こども園整備事業

4億7,592万円(内繰越7,800万円)

甲賀市幼保・小中学校再編計画に基づき、甲南東保育園、甲南西保育園、甲南南保育園を統合し、民設民営の認定こども園の整備を支援しました。



学校給食事業 3億5,620万円

物価高騰の中にあっても、保護者の負担を増やすことなく、栄養バランスのとれた安心・安全な給食の提供に努めました。また、地元産食材を積極的に使用し、質の向上に取り組みしました。



ここでは、令和5年度に実施した事業の一部を紹介します。

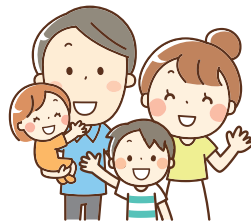
水口中央公民館整備事業 3億3,813万円

老朽化していた水口中央公民館を改築し、従前の生涯学習の機能を存続し、新たなニーズを反映した交流の拠点となる複合施設、「みなくるプラザ」の整備を進めました。



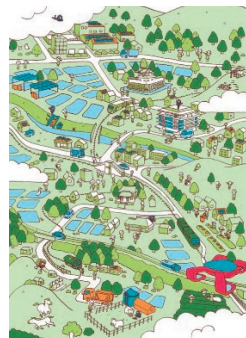
子育て応援医療給付事業 1億9,177万円

子育て世代の負担軽減や子育てしやすい環境を整えるため、小学1年生から中学3年生までの医療費の自己負担額を全額助成しました。



カーボンニュートラル推進事業 5,295万円

2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとするゼロカーボンシティ「環境未来都市・甲賀」の実現に向け、「甲賀市地球温暖化対策実行計画」を策定するとともに、再生可能エネルギー等導入可能性調査の実施及び省エネや地球にやさしい行動変容に向けた啓発・推進に取り組みました。



令和5年度

甲賀市決算

令和5年度一般会計・特別会計および企業会計の決算が、市議会第3回定例会で審議され、認定されました。

ここでは、市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われ、また、市の財政がどのような状況にあるのかお知らせします。

一般会計決算の概要

令和5年度は、第2次総合計画第2期基本計画の3年目であり、「子育て・教育」「地域経済」「福祉介護」を基軸に、脱炭素社会の実現に向けたGXの推進や移住定住の更なる促進、子ども・若者への支援のほか、福祉・教育施設の整備、医療・介護施設の役割整理、物価高騰対策などに取り組みました。

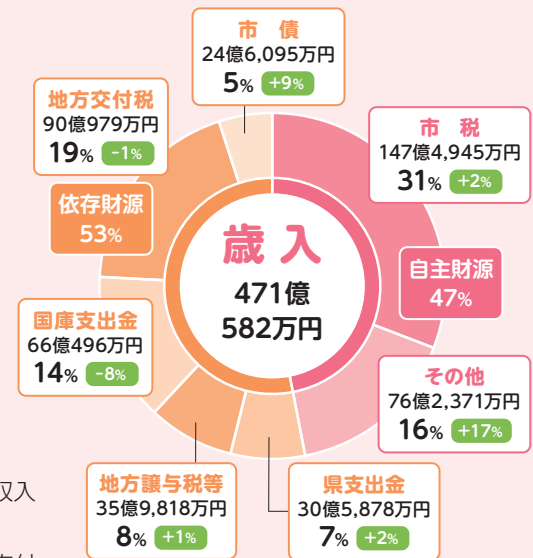
一般会計 歳入

ポイント

市税が前年度から約2%増

市税は、製造業に関わる企業業績の堅調な伸びなどにより増収となったほか、国の財政措置が有利な合併特例事業債などの借入の増加により、前年度と比べて約9.3億円の増となりました。

- 自主財源(令和5年度歳入のうち47%)
市税や使用料・手数料など、市が自主的に確保できる収入
- 依存財源(令和5年度歳入のうち53%)
地方交付税や国・県支出金など、国・県の基準により交付される収入。市債も依存財源に該当。



内は前年度比

市民1人あたりの市税負担額

52,431円

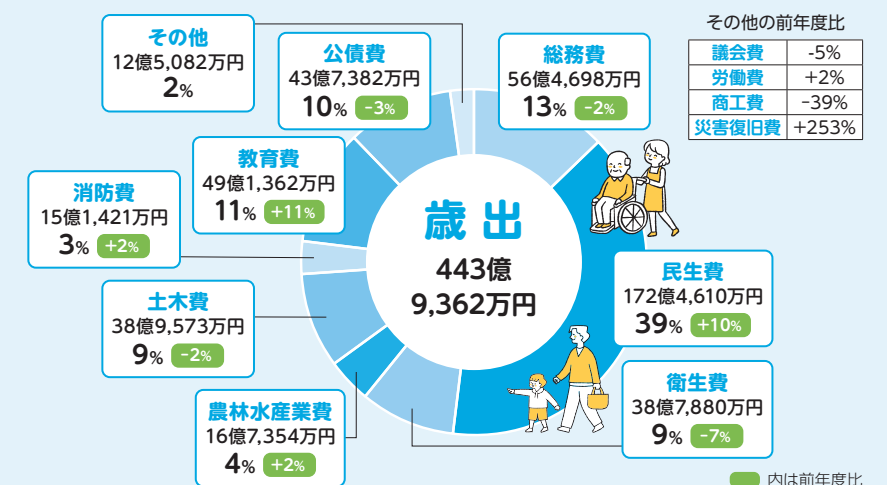
※市税(個人市民税)の収入(46億2,463万円)を令和6年3月31日現在の人口(88,204人)で割って計算しました。

一般会計 歳出

ポイント

福祉のための費用の「民生費」がトップ

歳出を目的別に見ると、子どもや高齢者、障がい者などの福祉のための費用である民生費が39%と最も多く、次いで地域コミュニティの推進や庁舎管理などの総務費が13%となりました。



内は前年度比

市民1人あたりの歳出

503,306円

※歳出(443億9,362万円)を令和6年3月31日現在の人口(88,204人)で割って計算しました。

特別会計と企業会計

特定の事業を行う「特別会計」と上下水道や病院などの収益事業を行う「企業会計」に分類し、運営しています。

	歳入決算額	歳出決算額
特別会計	194億5,663万円	191億3,678万円
企業会計	106億5,230万円	119億5,833万円
合計	301億893万円	310億9,512万円

※1万円未満の端数を切り捨てているため各決算額と小計は一致しません。

今後の財政ポイント

令和5年度決算から見る財政状況は、黒字を維持しており、健全財政であるといえます。しかし、社会保障関連経費の増加見込みに加え、老朽化した公共施設の建て替えや維持管理経費等に多くの経費がかかることから、今後も厳しい財政運営が見込まれます。

※記載した金額や比率は端数処理を行っているため、内訳と合計が一致しない場合があります。